

元気からだ! Q&A

毒虫にやられたときの対処法は?

〜チャドクガ(毛虫)編〜

千葉県医師会広報・ホームページ委員会

久保田 智樹 医師

Q

「毒虫」にはどんな種類の虫がいますか?

A

「毒虫」とは『有害な「毒」を持ち、それを刺したり咬んだり付着させたりして他の生き物に危害を加える虫(昆虫や他の節足動物)』のことを指します。

毒針をもつ「毒虫」は毛虫やハチ、サソリ、咬む「毒虫」はクモやムカデ、毒を付着させる「毒虫」はハネカクシやカミキリモドキ科などが挙げられます。

今回は、多くの毒虫の中でも比較的発生頻度が高い、チャドクガとハチ類に絞って解説いたします。

Q

チャドクガ皮膚炎とその対処法は?

A

チャドクガはツバキ、サザンカ、チャの害虫で、その幼虫(毛虫)は年2回(春と晩夏)出現します。

毒針毛が皮膚に刺さると激しい痒みを伴う皮疹が生じます。毒針毛は幼虫だけでなく、脱皮した抜け殻や繭、さらには雌の成虫にも存在するため、毛虫に接触していなくても葉や枝に残った毒針毛や、灯火に飛んできた成虫から落ちた毒針毛、時には風に舞って飛んできて衣服や洗濯物に付着した毒針毛で毛虫皮膚炎を生じることがあります。対策としては、

① チャドクガのいる木に近づかない
② 洗濯物を干すときも木からなるべく離す

③ 予め殺虫剤を散布する

④ 毒針毛が付着した衣類などは他の洗濯物と別にして何回か洗濯する

などがありますが、毒針毛は0.1mm程度なので完全に防ぎきれないことも多いです。

なお、毒針毛に触れた直後であれば、粘着テープを貼りはがしして、その後シャワーや水道水で勢いよく流すことも毒針毛の除去に有効です。

毛虫皮膚炎の治療は強いランクのステロイド外用薬を塗布し、抗ヒスタミン薬の内服を行います。重症や広範囲の時は短期間ステロイド薬の内服を行います。

Q

毒虫にやられた場合、何科を受診したらよいですか?

A

原因生物の種類によって対応が異なる場合や、他疾患との鑑別が必要になることも多いので、皮膚科を専門にしている医師の診察を受けることが望ましいです。

